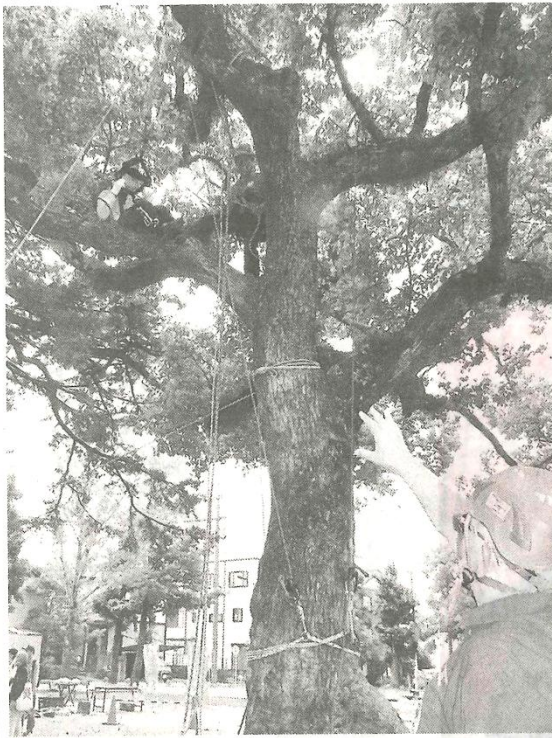


障害乗り越えて木登り満喫

豊橋・さくらびあ
余暇支援事業

眺めや達成感に笑顔

ジョンさんら訪問

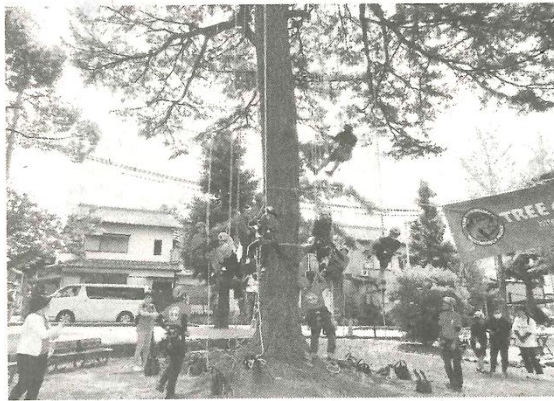


クスの枝に座る土本さん
と、下から声をかけるジョ
ンさん＝いずれも桜ヶ丘公園で

豊橋市障害者福祉会館
「さくらびあ」の障害児
(者) 余暇支援事業「木

登り体験」が1日、会館
前の桜ヶ丘公園で開かれ
た。障害のある8～45歳

の参加者18人と家族1人
が、高さ20mの松の木登
りなどに挑戦した。



ツリークライミングに
挑戦する子どもら

障害のある人たちに自
然を大切にする気持ちや
達成感を得てもらおうと
12年前に始め、今回で10
回目。ツリークライミン
グの普及や、障害を乗り
越えて頑張る人たちを
「フィジカルチャレンジ
ヤー」と呼び、木の上の
世界を分かち合う活動な

どに励む「ツリークライ
ミングジャパン」代表の
ジョン・ギヤスライトさ
んらが来豊。参加者がサ
ポートを受けてロープや
保護具を使って木に登り、
樹上の世界を楽しんだ。

事前に枝切りなどのメ
ンテナンスや試登をして
万全の状態で開催。笑顔
あふれるスタッフのサポ
ートに、初参加の子も怖
がることなく木登りに挑
戦。高所からの眺めを存
分に堪能した。

松の横のクスノキで
は、車椅子利用者もクラ
イミング体験。木の枝に
腰掛け、葉が風に揺れる
音や爽やかな香りを満喫
した。友人に誘われ初め
て参加した車椅子利用者
の土本教貴さん(38)は

「とても気持ちよかった。
来年もあつたら参加した
い」と笑顔を見せた。

「木の素晴らしさを感じ、日常とは異なる視点
を体験してほしい。感じ
る風も地上と木の上では
違う。本人にも家族にも
笑顔になつてもらいたい
とジョンさん。『いろい
ろな人の力で10回も続け
られた。各地でツリーク
ライミングをしているが、
長く続け、大勢の人が参
加するのは豊橋だけ。こ
れを全国に広めたい』と
話した。

【田中博子】